

2024年1月31日
ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社ダイヤゼブラ電機、一般財団法人省エネルギーセンター様より
「資源エネルギー庁長官賞(建築分野)」を受賞

ダイヤゼブラ電機(ダイヤHD 本社：大阪市、社長：小野 有理)は、2023年12月18日に一般財団法人省エネルギーセンター様より、「2023年度省エネ大賞、製品・ビジネスモデル部門」に於いて「資源エネルギー庁長官賞(建築分野)」を受賞いたしました。太陽光、蓄電池、V2Hを組み合わせた製品としては、初受賞となります。

「省エネ大賞」は、わが国の産業、業務、運輸各部門における優れた省エネの取り組みや、先進的で高効率な省エネ型製品などを表彰する制度です。

- ・応募テーマ名：ダブル蓄電ハイブリッドシステム「EIBS V」
- ・応募者：ダイヤゼブラ電機株式会社
- ・共同応募者：東京電力ホールディングス株式会社様
- ・評価ポイント：下記3点

- ①高効率の絶縁双方向電力変換技術の採用、業界最薄、最軽量を達成。
- ②チタン酸リチウム(LTO)負極電池の採用により業界最高となる2万サイクル以上の寿命と低温作動性能を達成。
- ③AIによる発電量と電力需要の予測を基に、太陽光発電の自家消費を最適化。契約電力と電力プランも考慮した上で、蓄電池及びEV(V2H)の充放電を最適に制御し、電気料金の削減を実現。※特定商流の付加サービス



今後も当グループは、中長期経営計画【炎のスクラム】に掲げた新ビジョン【車と家を地球環境に資するものづくりでつなぐ】に基づき、公器としてお客様の発展に寄与し社会の豊かさに貢献するべく、挙社一致で連戦猛進して参ります。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社 社長室 IR・広報部

TEL: 06-6302-8211 E-mail: PR1_INFO@dia-zbr.co.jp